

第 14 回伊那市誌編さん委員会議事録

開催日時	令和 5 年 10 月 23 日（月） 13 時 30 分～15 時 30 分
場 所	伊那市役所 多目的ホール
出席者	編さん委員：15名（欠席：5名） 事務局：教育長、教育次長、室長、担当
会議目的	各編の項目案の確認について、各編冊子の題名についての意見交換

【報告事項】

1 刊行スケジュールについて

- ・ 9 編 19 冊を令和 7 年度から 11 年度にかけて刊行することになった。その中で、政治行政編②を令和 10 年度から 8 年度に、社会編①を令和 9 年度から 8 年度に変更した。令和 7 年度に 4 冊を刊行し、その後順次刊行していくことになるので、今後、項目案の調整や執筆をお願いしたい。入稿から出来上がりまでにおよそ 1 年半をみているので、その辺りも勘案して、スケジュール管理をお願いしたい。（事務局）
- ・ 前倒しして刊行する巻が 2 巻あるが、例えば令和 9 年度の刊行は 2 巻のみであり、もう少し前倒しする巻があってもよいか。（委員長）
- ・ 令和 6 年度に入稿、編集を行うものが 4 巻あるが、最初の 4 巻の書き方が基本になるので、監修がないと統一した形にならないのではないかと。（委員）
- ・ 監修者は置かないこととしている。最終的には統括会と部会長会で確認し、ゴーサインを出していくことになる。（委員長）
- ・ チェック体制はあまり広げず、少人数でやっていかないと、まとまらないのではないかと。（委員）
- ・ 部会長会や統括会で検討し、部会に戻すことを繰り返していくので、自ずと全体の統一が図られていくと考えている。部会長会と統括会が監修の機能を持つと捉えてもらえばよい。（委員長）
- ・ 入稿より前の段階できちんとした編集をしていかないと大変なことになる。編集は先ず部会ごとに責任を持って行い、その後で統括会と事務局でチェックして入稿することを確認している。（副委員長）

2 業務委託について

- ・ これは、令和 7 年度に刊行する 4 冊分の業務委託である。業者選定は、公募型プロポーザル方式で実施し、経費の見積りや業務に係る提案をしてもらい、それらを加味して業者を決定する。業者から提出された企画提案書を基に一次審査を行い、一次審査を通った業者に 12 月上旬の選定委員会でプレゼンテーションを行ってもらい、12 月下旬には委託業者を決定したい。予算については、資料に示した額を計上している。業務内容は、4 冊の冊子を印刷製本して納めてもらうことが主になるが、市誌に関わるデジタル化も事業化できるように進めていきたい。現段階では各冊子 1,000 部の印刷製本を予定しているが、最終的には先行予約を取るなどして決めていきたい。（事務局）

- ・業者選定は、令和7年度に刊行する4冊に限定したものなのか、それとも全体を含めたものなのか。4冊に限定したものなら、毎回業者が異なった場合、そのたび体裁等も変わってしまうのか。
(委員)
- ・今回の契約はあくまでも令和7年度刊行の4冊分となる。体裁等は変わらないようにしていきたい。
(事務局)
- ・編さん事業のトータルの目的や冊子のデザイン等を考えながら進めていく必要があると考える。
(委員長)
- ・令和8年度に刊行する3冊は、令和6年度中に業者選定を行うということによいか。(委員)
- ・その場合、再入札を行うことになるのか。(委員)
- ・令和8年度分は令和6年度に選定を行うことになる。また、単年度で行っていくのか、令和8年度・9年度のように複数年度のをまとめて行っていくのかなど、方法については今後検討し進めていく。(事務局)
- ・レイアウトやページのデザインはできるだけ業者をお願いしたい。また、分冊形式の市誌にスムーズに対応してもらえる業者が望ましい。(委員長)
- ・今、印刷出版業界は不安定であり、過去の経験からしても不確定要素がたくさんあるので、最初に契約した業者で最後までいくのが自然であろう。執筆要領等も最後まで継続していきたい。不測の事態を想定することも必要であるが、業者が変わる想定は必要ないか。(副委員長)
- ・原稿が出来上がった時、事務局に連絡するのか、業者に直接連絡するのか、窓口を一本にしておいてほしい。(委員)
- ・業者や執筆者との連絡等の進行管理については、今後業者と相談して進めていきたい。(事務局)
- ・業者はいつ頃原稿を入れてもらえるかを心配しているので、先ほどの説明のとおり、発刊の1年半前までに入稿するスケジュールをお願いしたい。また、最初の業者が最後までという意見が出されているが、決定事項ではない。今回の契約は令和7年度末までであり、後になって金額が上がるのではないかという指摘もあったが、全体の予算額を示しているのので、原材料費等の経費が著しく上がらない限りはそういった事態にはならないか。(事務局)
- ・入稿期限は重要なことなので統括会に持ち帰り、委員会でのコンセンサスが得られるようにしていきたい。(委員長)
- ・1つの巻に複数の章がある場合、章ごとに順次入稿してもよいか。(委員)
- ・1つの巻をまとめて入稿することは難しく、反対に細切れで入稿しても業者は困ると思うので、章単位での入稿が現実的ではないか。(事務局)
- ・事前に校正の回数を決めておくほか、注文、発送などのタイムスケジュールをしっかりと組んでおいた方がよい。入稿は章単位でよいが、4巻になるので編集、校正は大変な作業になる。そうした点においても、年度ごとの刊行数のバランスをとっていくことは必須である。(副委員長)

3 体制に関する要綱について

- ・編さん委員会は、既に「伊那市誌編さん委員会条例」を定めて運営している。今まで要綱のなかった統括会、部会、協力員については、8月に設置要綱や運営要綱を定め、「部会運営要綱」の中で部

会長会についても明記した。協力員については、部会長からの推薦を受けて教育長が委嘱していく。調査に係る報償は、1回 5,000 円を支払うが、旅費の支払いはない。執筆料の金額は未定である。委嘱書の作成や報償の支払等の事務手続きは、事務局で対応していく。(事務局)

【会議内容】

1 各編の項目案の確認について

<検討課題>

- ・入稿の時期もあるので、各部会で今年度中に項目を確認してもらい、その後部会長会や統括会で確認、調整をお願いしたい。(事務局)

<決定事項>

- ・来年3月までに、各部会で項目の欠落や他部会との調整等の確認、検討を行う。基本的には、先ず部会で検討して部会長会に出していくが、逆の進め方もある。(委員長)

2 各編冊子の題名について

<検討課題>

- ・分冊名は、事務局で仮題として示したものである。冊子の刊行が現実的に見えてきた中で、分冊名は一目で内容が把握でき、かつ興味を持てるようなものにしていきたい。同様に、章、節、見出しについても検討しておく必要がある。今回、読み手の対象として、中高生にも読み易いものとうたっている。内容があつて項目名等が決まってくるので、各部会で項目を検討する中で見直しをお願いしたい。(事務局)
- ・冊子名や項目名等がすべて柔らかなネーミングになってしまっても、公共の市誌としてはいかなものかという考え方もある。その他、伊那市誌を編さんする場合、「伊那市の〇〇」の「伊那市の」の部分が必要かという意見もある。いずれにせよ、できるだけ市民が親しめるような市誌になるよう心掛けていきたい。(委員長)

<決定事項>

- ・各部会で項目の確認、検討を行う中で、冊子名や項目名の見直しを行う。その際、一目で内容が把握でき、かつ興味を持てるような名称となるよう心掛ける。(委員長、事務局)

3 その他

<検討課題>

- ・中高生に手に取ってもらうことを考えると、表紙や背表紙のデザインは大事な要素であり、インパクトのあるものにしていきたい。業者が決まって編集業務が進む中で意見を吸収する機会を作り、双方向で決めていってほしい。(委員)
- ・ある程度統一性を持っていくことを考慮すると、最初の4冊が出来上がる過程で、全体の委員会で確認、検討した方がよいか。(委員)
- ・表紙はソフトカバーになるのか。(委員)

- ・今回の市誌は、上田市誌を参考にして分冊形式とし、1冊あたり250ページの並製本としているので、ソフトカバーになるか。(委員長、事務局)
- ・業者には、表紙のほかに1ページを割く章のデザインやコラム、文字のフォントなど、組見本を作ってもらおうとよい。入稿の窓口は事務局に一本化し、使用する写真も事務局で保存・整理して業者に送ってもらおうとよい。手元に配った参考資料は、今年度羽広誌研究会で作成する冊子の目次であるが、伊那市誌でも統計等を使ってスマートに記述するのもよいが、市民の生の声などが出てこないという味がないか。(副委員長)
- ・事務局は、写真や図版等の著作権について提案してほしい。(委員)
- ・印刷部数は各1,000部とあるが、今後の冊子についても同様か、またその基準は何か。要望があれば増刷する可能性があるのか。販売についてはどう考えているのか、また無償配布するところはどこか。(委員)
- ・1,000部の明確な根拠はない。冊子の販売は考えているが、金額は未定。無償配布するところは、市内の図書館や小中学校、高校、上伊那郡内の関係機関のほか、資料をやり取りしている自治体などを想定している。そのほかに、執筆者への贈呈も考えられる。印刷部数については、現段階で販売部数が読めないなので、今後見極めをしていきたい。増刷についても、その必要性を含め、今後の検討課題としていきたい。(事務局)

<決定事項>

- ・業者から提案してもらった冊子表紙のデザインや各ページのレイアウト等について、全体の委員会の場で検討する。(委員長)

【その他】

次回 第15回編さん委員会の日程について

令和6年1月19日(金) 14時00分 (市役所多目的ホール)